

第三期中期計画の方向性

計画期間：令和7年4月1日～令和13年3月31日

- これまでの積み上げてきた取組を踏まえ、加速する**社会変容を飛躍のチャンスと捉え**、法人の「総合知」を結集し、学修者本位の教育の推進、多様な価値観が集まるキャンパスの実現、産業振興や地域振興への貢献など、**高等教育の多様性を確保**
- **国際社会や地域社会で活躍できる創造力と自律性を有する人材育成**、AIに果たせない真に人が果たすべき役割を十分に考え、実行できる**人材育成を行う**
- 持続可能な社会の実現に向け普遍的な真理の探究により、**地域社会が抱える課題の解決を果たし、社会・時代の要請に迅速かつ果断に答える**
- 法人の持つ資源を最大限に活用し、戦略的に大学運営を行うことで、兵庫を中心とした**地域社会への貢献を果たす**



真理の探究を基盤としたグローバルで独創的・学際的な教育研究による個と社会のWell-beingに貢献する新たな知の拠点を共創する

教育 次代を牽引する高度な専門性と深い教養、グローバル・リテラシーを有する人材を育成

1 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ✓ 英語で行われる授業科目を充実させる
- ✓ 派遣・受入ともに留学生を増やす
- ✓ 全学生の語学力を向上させる
- ✓ 海外の大学等との交流を増やす
- ✓ より多くの学生が国際学会で発表する

2 地域を支える専門人材の育成

- ✓ リカレント教育等を充実させる
- ✓ 課題解決型の授業を増やす

3 社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材の育成

- ✓ 高度専門人材(GX,DX等)の育成
- ✓ 博士人材・女性理工系人材の育成

4 総合大学の強みを生かした幅広い知識を有する人材の育成

- ✓ リベラルアーツ教育を充実させ、学際的な教育を行う

5 人材育成に向けた教育システムの充実

- ✓ 学修者本位の教育を推進する
- ✓ 時代に即した学生受入を行う
- ✓ 学生ニーズを踏まえた就職支援・学生支援を行う
- ✓ 中高大連携を充実させる

【主な評価指標】

- ・ 英語で行われる授業科目数
⇒ 200授業科目（最終年度）
- ・ リカレント・リスキリング教育プログラム
⇒ 5件（最終年度）
- ・ 教養教育改革の推進
⇒ 内部質保証体制の構築(定性的)
- ・ インターンシップ関連科目履修者数
⇒ 1300人（最終年度）

研究 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進

1 高度な研究基盤を活用した先端研究の推進

- ✓ 先端研究を行い、質の高い研究を世界に発信する
- ✓ 研究者の多様性を高め、活力ある研究環境をつくる

2 兵庫の先進的な取組を活用した実践的な研究の推進

- ✓ 国内外の大学等と連携し、共同研究・受託研究を行う
- ✓ 先進的・実践的な研究を地域社会に還元する

3 社会課題の解決に向けたイノベーションの創出

- ✓ 研究成果の社会実装を行い、県の課題解決に寄与する

【主な評価指標】

- ・ World's Top 2% Scientists掲載者数 ⇒ 15名（最終年度）
- ・ 科学研究費補助金の獲得 ⇒ 550件・8億円（各年度）
- ・ 共同研究・受託研究数 ⇒ 300件（各年度）
- ・ 県の課題解決に向けた調査・研究数 ⇒ 延べ100件（最終年度）

社会貢献 地域とつながり、兵庫の未来を共創

1 未来社会を先導する産学官連携の推進

- ✓ 地域のシンクタンクとして新たな価値を生み出す仕組みの構築

2 兵庫の経験を生かした災害に強い地域づくりへの貢献

- ✓ 防災・減災に関する知見を生かした研究成果の社会実装

3 共創による持続可能な地域づくりの推進

- ✓ 多様な主体と連携し、県が抱える地域課題の解決に寄与

4 次世代の兵庫を担う人材の育成と地域の期待に応える取組の推進

- ✓ 県内企業への学生理解を深める取組の強化

【主な評価指標】

- ・ 大学発ベンチャーの創出 ⇒ 10件（最終年度）
- ・ 防災・減災対策への貢献 ⇒ 南海トラフ巨大地震対応等（定性的）
- ・ 地域連携の実施件数 ⇒ 1250件（各年度）
- ・ 県内就職率 ⇒ 36.1%（各年度）



教育 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成

1 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして新たな価値を創造できる人材の育成

- ✓ 演劇的手法を用いた対話的コミュニケーション能力を養成
- ✓ 両分野を架橋する教育課程を編成し、各分野のマネジメント能力及び価値創造の能力を養成

2 地域活性化に貢献する専門職業人の育成

- ✓ 教育課程連携協議会を設置し、地域と連携した教育を実施
- ✓ 但馬地域の企業等を中心に多彩な実習を実施

3 世界に通じる専門職業人の育成

- ✓ 英語のみならず、韓国語や中国語などの多言語教育を推進
- ✓ 海外実習の拡充やダブルディグリープログラムの採用検討などグローバル展開を更に推進

4 人材育成に向けた教育システムの充実

- ✓ 外部評価機関の意見を踏まえた教育システム改善や教学マネジメントシステムの構築
- ✓ 産業界や地域社会のニーズを教育課程に反映
- ✓ 安定的な実習制度を構築
- ✓ 学生ニーズを踏まえた就職支援・学生支援を実施

【主な評価指標】

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| ・ 学生の海外派遣の人数 | ⇒ | 120人（最終年度） |
| ・ 留学生の受入人数 | ⇒ | 24人（最終年度） |
| ・ 実習制度の改革 | ⇒ | 実習制度の充実を図る（定性的） |
| ・ 教学IRの実施 | ⇒ | 教育の質保証の推進（定性的） |

研究 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進

1 専門職大学の強みを生かし、地域活性化に資する研究活動の推進

- ✓ 「芸術文化観光学」の確立に向けた研究環境の整備
- ✓ 地域課題と大学の研究シーズをマッチングさせ、新たな価値を創造

2 研究成果の社会への還元

- ✓ 多様な主体と連携し、地域貢献につながる研究を推進
- ✓ 学会誘致やシンポジウム等により、研究成果を国内外に発信

【主な評価指標】

- | | | |
|------------------|---|------------|
| ・ 科研費申請者率 | ⇒ | 80%以上（各年度） |
| ・ 学会・シンポジウムの開催件数 | ⇒ | 3件（各年度） |

社会貢献 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献

1 大学が有する資源の地域社会における活用

- ✓ 地域R&Iセンターを中心とした地域連携により、持続可能な地域活性化を実現
- ✓ 地域との協働事業をフレキシブルに実施するための体制の見直し

2 大学の特長を生かした地域貢献の推進

- ✓ 地元自治体等と但馬地域の教育の未来について検討

3 芸術文化及び観光に係る国際交流の推進

- ✓ 留学生の受入れや海外大学との連携強化により学内外の国際交流を推進

【主な評価指標】

- | | | |
|----------------|---|------------|
| ・ RICが連携する事業者数 | ⇒ | 120者（最終年度） |
|----------------|---|------------|

管理運営 中期目標・中期計画の実効性を担保

1 戦略的経営の推進

社会ニーズの変化に対応できる体制の構築

- ・ 教育研究体制の充実
- ・ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進

魅力発信と知名度向上

- ・ 戦略的広報の展開によるブランドの構築と知名度向上

教育研究基盤への計画的な新規投資

- ・ 最先端の教育研究拠点の整備

両大学間の連携

- ・ 1法人2大学の強みを活かした両大学間の連携強化

2 効率的経営の推進

経営資源の重点配分・相互利用

- ・ 経営資源の最適化、DX及び働き方改革の実現

安全・快適な環境の計画的整備

- ・ 安全・快適な教育研究環境に係る施設の整備、機器設備の整備・更新

【主な評価指標】

- | | | |
|------------|---|---------------------------|
| ・ 外国人教員比率 | ⇒ | 7%（最終年度） |
| ・ 両大学の連携推進 | ⇒ | 教育・研究・社会貢献を中心に各分野で連携（定性的） |
| ・ 外部資金獲得額 | ⇒ | 22億円（各年度） |

3 自律的経営の推進

財務運営の改善

- ・ 外部資金の獲得と財政基盤の強化に向けた取組強化

自己点検・評価及び情報の提供

- ・ 内部質保証の実質化、法人運営の積極的な情報発信

コンプライアンスの推進

- ・ 内部統制の実施、安全管理体制の確保